

# エッチな義母との エアロビクスセッ クス

息子ケイタの義母のミサトはケイタにリビングのソファに座って話していた。

「ママ、エッチなエアロビに通い始めたの。良かったら今ここで一緒にやろうよ！??」

エアロビ教室は駅前の商業ビルの地下  
一階。

トレーナーは

太ももの太い37歳の女性。

旦那とは物凄いことになっているらし  
い。

もちろんセックスである。

また、下着にこだわり高級店に取り寄せている。

それだけに、

エアロビ体操も体を健康にするために特化したものであった。

「はいっ！！いちに一さんしっ！！皆さんっ！！今日も体をキレイにしてい  
くのよっ！！」

ルームの床の上には薄赤いマットレス。

トレーニングの内容が書かれたホワイトボードの前に立ち、

お相撲さんポーズをとるインストラクターの先生。

髪はロング。かすかに茶色い。

黒いスパッツを穿いている。

「インストラクターの先生は旦那さんとスッゴイところまで行ったらしいのよ」

・・・・・・・・あなたもよかったらママと激しいセックスしてみない??

義母ミサトは嬉しそうに息子のケイタに話す。

夏の夜は暑い。茶色のカーテンがドアの外の風で揺れる。

ミサトは少しあぐらをかき体勢になった。

「この体勢がいいらしいのよ」

両手を指先を上にして合わせる。

まるでお釈迦様に拝むポーズ。

しばらくその状態で瞑想した後、

お尻をケイタの方に向けた。

インストラクターの先生と同様、黒いスパッツである。

丈はほんの少し短い。

くいっと大きなお尻がこちらへ向いている。

ケイタは吸い寄せられるように義母の後ろまで行く。

そして腰をゆっくりと持った。

「どう？結構筋肉とかついているでしょ??」

クルッと首をひねってケイタの方を見る。体勢だけは同じ。

ケイタはそのお尻にむしゃぶりつく。

「そのインストラクターの先生はどんなにエッチなの??」

義母は嬉しそうに答えた・・・。

「それはそれはほんとにもう・・・・・・・・」

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)